

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2019-37468 (P2019-37468A)

【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2017-161761 (P2017-161761)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段と、
前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段と、
前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段と、
優先度が異なる複数種類の異常を判定可能な異常判定手段と、
前記異常判定手段によって判定された異常の優先度が報知中の異常の優先度よりも高い
場合に該報知を終了し、前記異常判定手段によって判定された異常の報知を行う異常報知
手段と、

前記異常判定手段によって判定された異常に対応した状態に制御可能な状態制御手段と

、
演出音の出力を制御可能な音声制御手段と、を備え、
前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、
一連のデータとして記憶され、
前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能であ
り、

前記補助演出手段は、

前記表示手段の表示に関する表示補助演出と、異常の発生の報知に関する異常報知補助演出とを実行可能であり、

所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり、

前記停止期間においても前記異常報知補助演出を実行可能であり、

前記異常報知手段は、前記状態制御手段により制御されている状態が所定状態である
ときに、前記異常判定手段により新たな異常が判定された場合は、当該新たな異常の優先度
にかかわらず前記所定状態に対応した異常の報知を継続して行う、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ123など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばCPU131、VDP135など）と、前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段（例えばスピーカ8L、8R、演出用点灯役物90、演出用可動部材32A、32Bなど）と、優先度が異なる複数種類の異常を判定可能な異常判定手段と、前記異常判定手段によって判定された異常の優先度が報知中の異常の優先度よりも高い場合に該報知を終了し、前記異常判定手段によって判定された異常の報知を行う異常報知手段と、前記異常判定手段によって判定された異常に対応した状態に制御可能な状態制御手段と、演出音の出力を制御可能な音声制御手段（例えば音声処理回路136など）と、を備え、前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、一連のデータ（例えば動画像データなど）として記憶され、前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能であり（例えば図14を参照）、前記補助演出手段は、前記表示手段の表示に関する表示補助演出（例えば動画像再生によるリーチ演出など）と、異常の発生の報知に関する異常報知補助演出（例えばエラー報知EH1など）とを実行可能であり、所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり（例えば図27における動画像再生開始、動画像再生終了を参照）、前記停止期間においても前記異常報知補助演出を実行可能（例えば図27における動画再生開始より前にエラー報知EH1を実行可能）であり、前記異常報知手段は、前記状態制御手段により制御されている状態が所定状態であるときに、前記異常判定手段により新たな異常が判定された場合は、当該新たな異常の優先度にかかわらず前記所定状態に対応した異常の報知を継続して行う。

このような構成によれば、適切な演出を実行できる。

(1) また、他の遊技機として、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ123など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばCPU131、VDP135など）と、前記表示手段とは異なる演出手段を用いた補助演出を実行可能な補助演出手段（例えばスピーカ8L、8R、演出用点灯役物90、演出用可動部材32A、32Bなど）とを備え、前記補助演出手段は、前記表示手段の表示に関する表示補助演出（例えば動画像再生によるリーチ演出など）と、異常の発生の報知に関する異常報知補助演出（例えばエラー報知EH1など）とを実行可能であり、所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記表示補助演出を遅延して実行可能であり（例えば図27における動画像再生開始、動画像再生終了を参照）、前記停止期間においても前記異常報知補助演出を実行可能（例えば図27における動画再生開始より前にエラー報知EH1を実行可能）である。

ことを特徴としてもよい。

このような構成によれば、適切な演出を実行できる。